美 浜 町長賞

浄 瑠 璃を語りし父と夢で逢う 子供歌舞伎の遠き思い出

吉田 悦子 (兵庫県)

浜 町議会議長賞

「王の舞」終えし若者の息乱 鳳凰の尾羽なお揺れ止まぬ

矢部 芳子 (敦賀市)

美 浜町教育委員長賞

こんなにも高き橋から飛び込むか 日 向の漁師の水中綱引き 井上 弘子 (若狭町

美 浜町教育長賞

久々子湖と海の境に架かる橋 逆潮の中魚の影見ゆ

谷 茂 美 浜 町

亀

美 浜町文化協会長賞

明 け やらぬ潮だまりに浮く鴎らの

白さに眼ようよう慣れゆく

佐 々木邦子 (鯖 江 (市)

寄 り添ひて羽を休めるコハクチョウ 一浜を詠う実行委員会長賞

久々子湖畔に白きマシュマロ 杉 崎 康代 (小浜市)

> 表彰式後には、漫画家の里中満智子氏を招き「歴史を楽 しむ~万葉集の楽しみ方~」と題した講演会が開催されま

> 里中氏は、「万葉集は、日本人の文化や感性、男女・身 を学べます。難しい首もありますが、昔の人の心情を知 るためにもぜひ一読ください。」。と集まった多くの観客 にメッセージを送っていました。

した。 分に捉われない心等、古来から代々培われてきた考え方

佳 作

早 瀬

休 耕 田まっ黄に染めるヒマワリを 浦こども歌舞伎の山車近く

ぼくも主役と鯉のぼり舞う

Ш

﨑

正

活

(美浜町

彌 美の杜川のせせらぎ飛び交いし

術後の母に写メール送る

竹

澤

里子

(高

浜町

蛍の舞いに子らの声湧く

浅

田

恵美子(美浜町

波

静

か五湖の舟屋の磯船に 止まる白鳥入日に染まり

尾

上

明

(兵庫県

シカ君も庭先にいて寝乍らに 聞いて居たのかテレビの野 球

佐

本

和

佐子(美浜町)

照の耀ふ湖に舟浮かび

竿さす人の影絵の

如 L

岡

田

節

子

(敦賀市

残

妻と見る梅丈の眼下一線の

波を引き連れ遊覧の船

息の脱毛治癒を祈りし天狗堂 髙 木 勝

美

(美

町

浜

桂 本 啓 夫 (敦賀市

幾重の峠今穏やかなり 帰 山 貞子 (福 井市)

国 一吉の城 址をたずね 若狭国越

前国を隔てしは

精霊舟送る渚に汐木焚き

きょうは御蔭と投ぐるかはらけ

垣

見

邦

夫

(愛

知

県

海人等唱える詠歌哀しく

コスモスの咲く道一つ山里に入る

図に国吉城下にぎわいて

古

地

行き交う人の声ぞ聞こゆる

大漁旗なびかせ帰るとうちゃんの

加 藤 茂

町

汐谷

圭子

(敦賀市)

(美浜

金森恵美子(美浜町

汗と笑顔がキラキラ光る

ろ

三方五湖夕陽に光るその先の

美浜をカメラで五枚切り

取

宇 井 恒 彌 (東京都

板 慶子 (美浜 町

初

恋の手を取り合った小倉山

今は親子の猿の楽

袁



昭和57年度から整備を進めてきた

下水道整備事業が完了しました

■ お問い合わせ先 町上下水道課(担当・増田)☎32-1341

0)

7

きた下

水 目 民

道 的

整

備 整

業

ŋ

備

を 住 保

と 共

町 用

快 に

適

な

域

7

1,

をも

て完了し

ま

た

0) 28

で、

0)

ほど「農業集落

排

年

を わ

か

け 昭

整

備 57

し

してきた

ŧ

合

せ 事

和 は

か

5

年 地

度 域

約 性

0) Ĺ 事

特

公共下水道区域の水洗化率の推移 (%) 100 r 72.8 80 71.5 63.0 60 40 20 0 H16 H17 H18 H19 H20 (年度)

全てが完了 道事業」・「 圧 浄 事 は 地 L 業」 化 下 か 13 区 8 ず 槽整備事 水 を ح % 「漁業集落排水事業」 道 L 最 しました。 各事 区 ŧ 7 極 後 低 域 行っ 8 に 業」の 業 O7 「公共下 水 0) てきた新 低 洗 中 水 13 4 化率 でも 洗 状 事 況 水 化

> い水 します 道 7 方 自 は 然 13 速 0) < 環 ため B 接 境 美 を次 続 浜 か に がに 町 も、 接 お 0) 0) 続 時 済 す ば を 3 ま 代 で だ下 お \sim 5 残し 願な

できま 上下 なけ 浜町 せください なお、 水 排 れ 水設備指 道 せ ば 排水設 ん。 課 工 まで 事 詳 を 定工 備 お問 しく すること 工 事 事 は、 店 は 合 で 美 わ町 が

を

に務め

7

いきます。

公共下水道を利用されている方の家庭から 出た汚水は、町浄化センター(写真上)で 滅菌処理され川に放流されます→

水洗化率とは

で割った数のことを 下水道が利用可能な人の-水道に接続している人の 可能な人の人口ている人の人口 います。

■ お問い合わせ先

老朽化により改築を進めてきた 町水道管理所が完成しました

町上下水道課(担当・石丸) 232-1341

名 称 美浜町水道管理所 D A T 場 美浜町南市1-1 所 鉄筋コンクリート 構 造 平屋建て(一部地下1階) 321.21㎡(1階) 床面積 66.34㎡(地階) 送水量 5,500㎡/日

9 00

↑稼働状況を確認する職員

ました。 る 施 設 濁 理 工 度 所 事 水 旧回 計道 が を平設 管 完 P 水 2 進 成の 玾 成 0) 月 8 20 老 L 所 年 朽 濁 26 7 のた ŋ き 9 \mathbb{H} 化 当 機 を た 0) に 月 に 能 管 測 町 完 か ょ 成水ら ŋ

備されてい 結 ぶ と 遠 新 隔 管 、ます。 監 理 視 所町 装 及 内 置 び 等 町 全 が役水定に理 整場道 す 加所 道改

きる ン 町 を 民 町配 装 メ ょ 虚され よう水 1) で 早 0) 置 は、 水 期 皆 ŧ ル 0) が 復 z で 異 完 てい 今後 道 11 旧 ん 通 常 備 水 つ で 0) z 報 箇 、ます。 でも きる Ö ŧ ラ れ 所 す 管 安 イフライ る を 7 使 価 ように お 異 管 理 ŋ 常 理 用 徹 で お 者 底 で 通

0) 0 ほ 機 器 が 故 雨 障 B L 洪 た 水 場 等



福井放送と福井テレビの

東美浜中継局が「地デジ化」されます

■ お問い合わせ先 町企画政策課(担当・上野) ☎ 32-6701

ることとなりました。

これ

により、

「太田」:「

坂

さる限

り V 23

B 放

に

デジ

タ

ル

化

か送

ピ 速

終了

後 0)

で

3

年

7

月

24 浜 ح

 \exists

ア 局 テ

ナ

口

の井

東 放

美 送

中 福

は

みです。 放送も け グ放 信 B ロ環境となり 放送とほど - にデジ お、 Щ ・き台」 視 上」:「佐 聴 N でも タ Н 可 ŋ, ル ぼ K 能 三:北 となる 同 従 化 は、 z じ ワ 来 ン 電 0 れ平 田田 見 セ 波 ア る 成 ナ グ 22 0)

すの たり、 欺に デジ ため な うする る 13 継 デ 特 で、 タ ため、「電 ジ 工 ように 局 に 0) 工 ル 東 タ が 事 費 事 ピ ご注意くださ *まだ置 地 用 ル 化 例 事 べをつ 区 を不 工事を装 が 0) 放 者 なる」と 込は、 送 を装 党波で地 発 勧 を受 けてく 局 生 誘 正 され デジ して を行 つ 信 て、 デジ やア 1) タ ださ た つ 7 15 つ求す 詐たがい またし 地 ル



美浜・若狭両町で

若禁国吉城

「障がい者の就労を支える会」を設立しました ■ は問い合わせ先

町健康福祉課(担当・渡辺) ☎ 32-6704

↑ 「はこべの家 | を視察する委員

せられた 立すい援助 美浜 例 そ で 制 狭 町 に関 きるように た能及議 0) 検 町 力や適に ご家 地 成 中 \exists と 討 援で 域 19 常 で、 の法は 等 す 障害児(年 族 を 生 る 広 0) 12 協 か 行 活 性いち 域 施障 月 5 z をに児 上 議 れ つ で 行 を応んがで、 に若狭 者 まざ 数 ま 7 を 相 に)自立支 むこ じ、 多 で き そ 行 談 伴 < ま ま の障 支 本 う い立 町 寄 な と 有が 援 自

え、

誰

もが生きが

いをもてる

を目

指すこと

を

きるようサ

ŧ 0)

に

ようサポート体制を整成労が安定して継続で

開場

拓 を 会で

B は

拡 じ

充に

努 す が

め 3 13

る 実 者

ととと 習

め

ح 障

先

本

は、

0

働

け る た「障 課 題 解 決 一を具 者 0) 体 就 労労に 的

で

る

ح

が

あ 課

ŋ

ま) て 悩 で、

L

た

13 本 的 ち

者

0)

就

労労に

関

l

ん 障 に活 づくり

動していきます。

またはご家族

絡ください

町

健

康

福

までご

を支える会」を立ち上げ22年1月に「障がい者の対応していくために、 げ 0 就 ま 労 成

害

自



平成22年度の

国民健康保険税率が変わります

■ お問い合わせ先 町税務課(担当・武田奈々) ☎ 32-6702

玉 民健康保険事業の財政は、生活習慣病や高齢化による医療費の増加に加え、景気後退に伴う所得の減少等から厳しい財政運営となっています。

本事業では、これまで繰越金等を充てることで収支のバランスを保ってきましたが、現在は、不況等の影響から収入額が大きく落ち込み、平成22年度の予算編成ができない事態となりました。そこで町では、加入者の皆さんの医療費を確保するため、やむなく平成22年度からの国民健康保険税率を改正することとしました。

加入者の皆さんには、ご負担をおかけ しますが、今後も安心して医療を受けら れるように国民健康保険事業の健全な運 営にご理解とご協力をお願いします。

なお、今回の改正による世帯あたりの 税額については7月に通知します。

□ 国民健康保険税税率表(年額)

区分		改正前	改正後
① 医療保険分	所得割(所得に対して)	5.5%	6.3%
	資産割(固定資産税に対して)	27.0%	35.0%
	均等割(一人あたりに対して)	21,000円	24,500円
	平等割(一世帯あたりに対して)	23,300円	26,000円
	課税限度額	47万円	50万円
② 後期高齢者 支援金分	所得割	1.8%	1.8%
	資産割	10.0%	10.0%
	均等割	6,500円	6,500円
	平等割	7,000円	7,000円
	課税限度額	12万円	13万円
③ 介護保険分	所得割	1.8%	1.8%
	資産割	_	_
	均等割	8,500円	8,500円
	平等割	5,000円	5,000円
	課税限度額	10万円	10万円

- ※①②③をたした額が国民健康保険税額(年額)になります。
- ※介護保険分は、40歳から64歳までの方が対象となります。
- ※課税限度額は、改正予定内容を掲載しています。

税額試算 ▶ 今回の改正により税額がどの程度上がるのかをモデルケースで説明します。

モデルケース①

- □家族構成 70歳の単身世帯
- □ 収 入 年金収入140万円(月収117,000円)
- □ 固定資産税 なし
- □ 軽 減 区 分 7割軽減世帯



平成21年度税額 17,200円(年額) ↓ 平成22年度税額 19,200円(年額)

2.000円の増額

モデルケース②

□ 家 族 構 成 夫(70歳)・妻(65歳)の2人家族

□ 収 入 年金収入200万円(月収167,000円)

□ 固定資産税 35.000円

□軽減区分 2割軽減世帯



平成21年度税額 115,400円(年額) ↓ 平成22年度税額 129,800円(年額) 14,400円の増額

モデルケース③

□ 家 族 構 成 夫(40歳)・妻(35歳)・

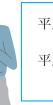
子3人の5人家族

□ 収 入 営業収入350万円/営業所得220万円

(月収292,000円)

□ 固定資産税 35,000円

□軽減区分 なし



平成21年度税額 364,400円(年額) ↓ 平成22年度税額 402,300円(年額)

37,900円の増額

緒に始めませんか? 地球温 暖化対策

フランふくい]の事業を紹介します

ふくい ています。 けた普及活 ター 地球温暖化防止活動推進セン では、地球温暖化防止にむ (NPO 法人エコプラン 動 や支援活動を行なっ

に向 ます。 ひご利用ください。 プが行なうイベント このセンター 今回の美浜の けた取り組みや、 各家庭 歴や事業所での○削減−の主な事業を紹介↓ 環境シリ や学習会を 団 体 · ĺ ズでは、 ルー L 減

わが家・わが社のエコ盲

録 社 極的に ージに掲載されます。 事業所は、 記 職されたエコ コ 実施 0) 家庭 宣 部 実施 言とは、 が (わが家)と事業所 状況を後日報告するも ルする項 同センター あります。 活 所 目を決めて登 動 定 の内容から 0) 登録され 登 0) 録 ホ 用 7 紙

923件と58事 ホームペ 課に置 ています。 浜 町 いてありますが、 では、 ジからも登 登 録 業 2 月 用 所 紙 が 既 は町住民安 末 録 センター に登録さ 現 が でき 在 で

①自然エネルギー

よる手作 ソーラークッ

り 工

一作で自

カー

-や風車

発

派遣内容

減運動を始めてみませんか。 皆さんも 簡 単にできる身近 な CO_2



↑
わが家、 わが社のエコ宣言

講師として活動されています。 種イベントや学校での環境学習 ターが県から委嘱されており、 までお問い みください を希望される場合は、 ものもありますの 内容によって一部経費がかかる 地 県内で1 球 温 暖 合わせの 〇〇人のアースサポー 化 防 止 で、 を推 同 講師の 進 お申 センター す 派遣 る 各 込 0) た



二州アースサポーターによるエコ診断 (町民文化祭)

などの紙芝居を行ないます 球温暖化の 現状や省 工 ネ

③エコライフ診断

費をコンピューター イスを行ないます。 出量の算出と省エネ 家庭で消費した1 -で分析 か 対 月 策 分 0) 0) アド 光 CO₂熱

省エネ住宅診断

熱効果などを診断し、 を行ないます。 ムや省エネ方法などの 希望する家庭を訪 エ 問 アド Ų コリフォー バ 家 イ 0) 断

http://stopondanka-fukui.jp/

畄

地 球温 暖化 などに関 する 講

会に講師を派遣します。

少しの気配りで減らせる CO₂(主な行動による CO₂削減量)

日本では国民1人あたりが毎日7kgのCO₂を排出していると いわれています。生活を少しかえるだけで大きな削減効果につな がります。

18°C

130 g

□家庭では

- ●冷房温度を1度上げる(9時間)・・・30g
- シャワーを 1 分間短縮する ・・・ 60 g
- ジ袋 1 枚を削減する ・・・ 90 g ● 缶ビール (500ml) を瓶ビールに変える
- □自動車では
- 走行距離を4km減らす・・・・930 g
- アイドリングを5分間分止める・・・110 g
- 急加速、急発進を 10 回止める・・・ 140 g

方法

校

※お問い合わせ先

地球温暖化防止活動推進センター (NPO 法人エコプランふくい

貸し出しています。 や省エネかるた等の教材を無料 八力発電や風力発電等の実験装置 ントや学習 や地 ページアドレス **2**0776 - 30 - 0092 域 等の 一会での 4 |体が行なうイ 環境学習

3月22日調整運転開始予定 3月19日原子炉起動予定 第24回定期検査中 (平成21年12月13日~ Á 月 中 旬

美浜発電所の状況 定格熱出力一定運転中 美浜2号機 美浜1号機 (平成21年12月18

状況等についてお知らせします。

町長に報告しました。

機構の岡崎理事長は町を訪

れ 原 子力 Щ

 \Box

県・市へ

0) 協 議

願提出後、

日 <u>{</u>

□ もんじゅナトリウム漏えい事故後の主な経緯

(平成21年7月23日~)

定格熱出力一定運転中

美浜3号機

年月日		主な経緯	
平成 7年	12月 8日	2次主冷却系ナトリウム漏えい事故	
平成 8年	10月11日	科学技術庁「もんじゅ安全性総点検チーム」を設置	
平成10年	3月30日	同上チーム「もんじゅ安全性総点検結果」報告	
	10月 1日	「核燃料サイクル開発機構」発足	
平成13年	6月 5日	県・敦賀市「ナトリウム漏えい対策等の工事計画」事前了承	
	6月18日	原子力安全・保安院が「安全性総点検での指摘への対処と報告」 」を指示	
	7月19日	県「もんじゅ安全性調査検討専門委員会」設置	
	7月27日	安全性総点検に係る報告(第1回)	
平成14年	6月19日	安全性総点検に係る報告(第2回)	
平成15年	11月14日	もんじゅ安全性調査検討専門委員会が「最終報告書」を知事に提出	
平成17年	2月 7日	県・敦賀市「ナトリウム漏えい対策等工事計画」を事前了解	
	9月 1日	もんじゅ改造工事本格着工(本体工事開始)	
	10月 1日	独立行政法人 日本原子力研究開発機構発足	
平成18年	10月 5日	安全性総点検に係る報告(第3回)	
	12月18日	もんじゅ工事確認試験開始	
平成19年	5月23日	もんじゅ改造本体工事終了	
	8月30日	もんじゅ工事確認試験終了(改造工事終了)	
	8月31日	もんじゅプラント確認試験開始	
	10月12日	安全性総点検に係る報告(第4回)	
平成20年	3月31日	新指針に基づく耐震安全性評価結果報告書提出	
	4月26日	県・敦賀市「初装荷燃料変更計画」事前了解	
平成21年	3月31日	新指針に基づく耐震安全性評価結果報告書(追補)提出	
	8月12日	もんじゅプラント確認試験終了	
	8月13日	もんじゅ性能試験前準備・点検開始	
	11月 9日	安全性総点検に係る報告(第5回)	
平成22年	1月31日	もんじゅ性能試験前準備・点検終了	
	2月10日	原子力安全・保安院「原子力機構の安全性向上の取組みを評価」	
	2月22日	原子力安全委員会「原子力安全・保安院の評価を妥当」と了承	
	2月23日	県・敦賀市へ運転再開協議願提出	

↑山口町長に運転再開の報告をする岡崎理事長(写真左から2人目)

ついて、 も原子力安全・保安院の原子力機構 後同22日には原子力安全委員会から 評価を受け(広報3月号参照)、 行いうる体制になっている。 転再開にあたって安全確保を十分に ら「原子力機構は、 における原子力機構の安全性総点検 での指摘に対する改善の取り組みに 岡崎 年12月のナトリウム漏えい事故後 理事 国の原子力安全・保安院 長は、 2 月 10 もんじゅの試運 日に、 との その

井県と敦賀市に対して安全協定に基 原子力機構)は、去る2月23日、

もんじゅ運転再開協議願を提出 日本原子力研究開発機構が

日本原子力研究開発機構(以下)

福

づく「運転再開協議願」を提出しまし

今回の報告では、2月18日から3月15日までの美浜発電所の

たと、 慎重、 が第一であり、 内外の期待も大きいが、 活動を行うことを強く求めました。 みと町民に対する十分な説明や理 ついて説明し理解を求めました。 再開協議願」を提出することになっ る段階であること等を踏まえて「運転 な論点は概ね取りまとめられつつあ きており、 原子力機構としては安全性が確認で 山口町長は、 その経緯や今後の試験計画 厳格な審議が続いているが 国の審議においても主要 もんじゅに対する 今後の慎重な取り 安全·安 解 組 心 玉

がなされたこと、 耐震安全性に関しては、 に対する評価は妥当であるとの了 また、 今も国での もんじゅ 0 承